

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！一

自らの胸に 自らの未来を

10/22 津田沼支部・第9回定期大会

日刊動労千里葉

86. 11. 14

No. 2406

國鐵千葉動力車勞働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）一九三五〇六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

労働者として、人間としての魂を守りぬく

十月二二日、動労千葉・津田沼支部は、全組合員・家族の团结を打ち固め、国鉄労働運動解体攻撃粉碎、十万人首切り阻止へ、第三波ストを目指し総反撃にうつて出よう!! のスロー ガンのもとに第九回支部定期大会を開催した。

どんな困難な時も勤労千葉の
最先頭で闘つてきた

支部大会は、二十日からの第一波順法闘争をうちぬいた熱気のなかで、六〇名の組合員が参加。参加者全員の熱心な論議をとおし、満場一致闘う方針を決定、綾部支部長をはじめとした新執行体制を確立した。

渋野委員を議長に選出の後、冒頭あいさつにあつた山下支部長は「津田沼支部は、どんなに困難なときも常に動労千葉の最先頭にたつて、血を流しながらも闘いによつて情勢を切りひらいてきた十万人の首切りという理不尽な現在の攻撃に対してもわれわれは、二波のストライキをうちぬいたがゆえに今日の団結を維持し、全国の国鉄に働く仲間の心をとらえ、国労修善寺大会の誰も予側もしなかつた国労の仲間の決定をつくり出すことができた。この一年間の闘いの勝利を全組合員が確認しよう。そして、これからむかえようとしている最大の決戦に対しても全組合員の怒りと強固な団結力を結集し、自らの闘いによつて自らの未来を切りひらこう」と提起し、大会でかちとるべき課題を鮮明に訴えた。

「皆んな歯をくいしばつて
がんばりぬいてる」

来賓のあいさつでは、本部布施書記長から國鉄をめぐる情勢について提起し、さらに船橋市議・中江さんから、さつことこ。

質疑では「一人活セント」からの報告や、物販で全国をめぐり歩いて肌で感じた勤労千葉への期待の声の報告、新執行体制を確立した国労の動きについて、順法闘争については、とりわけ闘いの渦中にあるだけに意見が集中し、「マスコミの反動キャンペーンのなかで順法をやりぬくことは、スト以上に大変な闘い、組合員はみんな歯をくいしばつてがんばりぬいている」「第一波順法をやつてみて戦術としてはスト以上に当局に対してダメージを与えていると実感した」等々活発な論議をとおし、翌週からの第二波順法へのより強固な

The photograph captures a formal meeting or conference. In the foreground, several individuals are seated in rows, their backs to the camera. They appear to be men dressed in dark suits. In the background, a stage is visible where a speaker is likely addressing the audience. A prominent banner hangs across the stage area. The banner features large, bold characters for the title and smaller text below. The title reads '第五回支部定期大会' (Fifth Branch Regular Conference). The text below discusses the All-Industry General Union's opposition to privatization, mentioning the 'All-Industry General Union' (全労連), 'privatization' (民営化), and 'resistance' (反対). The overall atmosphere suggests a political or trade union gathering.

A black and white photograph capturing a group of people from behind, looking towards a large banner. The banner prominently displays the text "第三回支部定期大会" (Third Branch Regular Conference) in large, bold characters. Below this, a smaller rectangular box contains a political message: "分裂・民営化締封阻止へ、団う国鉄労働者の大团结を! 全力闘争! 人民の生活改善と実現し、反動保守派を打倒しよう! 全組合員で!" (Unite the railway workers! Stop the split and privatization! Strive for the improvement of people's lives and realize it! Overthrow the conservative reactionaries! All union members!). The people in the foreground are mostly men, some wearing coats and hats, suggesting a formal or semi-formal event. The background is slightly blurred, focusing on the banner and the crowd.

支部大会をひらこう

二

最後に、浜野議長から「この団結を守りぬき、勝利して来年もこの場で盛大な支部大会を開催しよう」との発言をうけて大成功のうちに終了した。われわれは、何の道理もない、ただひたすら理不尽な攻撃によつて十万人もの国鉄労働者の首切りを断じて認めるわけにはいかない。とすれば、われわれには労働者として、人間としての魂を守りぬき闘いぬく以外に他の道はない。そして、闘いを貫くとき必ず勝利への道は切りひらかれることに確信をもつて前進しようではないか。

支部長綾部光

執行委員	書記次長	高石正勇	田中康博	重見敏夫	綾見敏夫	光男四〇
春	長	高	中	中	綾	部
三六		石	康	見	見	光
"		正	宏	敏	敏	男
"		勇	三	夫	夫	四〇
"		三六	一	四〇	"	電運士
"		"		"		

青巒書

津田沼支部通信員（発行）

四
俗